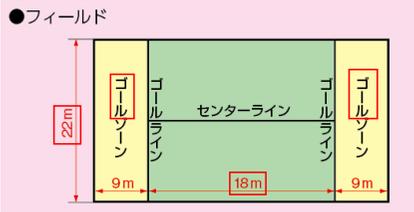


「アクティブ 中学校体育実技」 訂正表

現在供給しております弊社発行の「アクティブ 中学校体育実技」において、下記の通りルール改正等による訂正がございました。
現在の供給本でのご指導におきましては、以下の訂正情報にご配慮くださいますようお願い申し上げます。

修正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
119	左20行目～21行目	同時に、左右対称で、かつ左右同じ高さでなければならない。	それぞれ同時に行い、左右交互に動かしてはいけない。
125	左上図	スリーポイントフィールドゴールエリア	スリーポイントゴールエリア
125	図(●ボール)	男子は外周74.9～78.0cm、重さ567～650g(7号球) 女子は、外周72.4～73.7cm、重さ510～567g(6号球)	男子は外周75.0～77.0cm、重さ580～620g(7号球) 女子は、外周71.5～73.0cm、重さ510～550g(6号球)
138	表(ゲームのあらまし)	1ゴールの得点は、スリーポイントフィールドゴールエリアからは3点、他は2点、フリースローは1点。	1ゴールの得点は、スリーポイントゴールエリアからは3点、他は2点、フリースローは1点。
139	{3}その他のルール	②スリーポイントショット＝スリーポイントフィールドゴールエリアからのフィールドゴールには3点を与える。	②スリーポイントショット＝スリーポイントゴールエリアからのゴールには3点を与える。
141	左上図 (●ボール)	中学生男子は	中学生は
141	左上図 (●ボール)	新2号球	2号球
141	左上図 (●ボール)	中学生女子は外周49～51cm、重さ290～315g(新1号球)。	(削除)
152	②スローオフ	前・後半の開始のとき、ゴールイン後のゲーム開始のときに、少なくとも片足をセンターライン上のコート中央から左右に1.5mの中に置き、審判の合図から3秒以内に行う。 前・後半の開始時のスローオフでは、すべてのプレーヤーは、自陣のサイドにいなければならない。スローオフを行う側のプレーヤーは、審判の合図の後すぐに移動することができる。 ゴールイン後のスローオフでは、相手側はどちらのサイドにいてもよいが、スローオフが行われるまで、ボールから3m以上離れていなければならない。	●スローオフエリアを設置していない場合…センターライン中央(コートの中央から左右に1.5mの範囲内)から、笛の合図より3秒以内にスローオフを行う。スローを行うプレーヤーは、片足をセンターライン上に、他方の足をセンターライン上または自陣側に置き、ボールから手を離すまでその位置にいる。スローオフを行う側のプレーヤーは、笛の合図よりも前にセンターラインを踏み越えてはいけない。相手チームのプレーヤーは、スローオフを行うプレーヤーから3m以上離れていなければならない。 ●スローオフエリアを設置している場合…スローオフエリアから、笛の合図から3秒以内にスローオフを行う。スローを行うプレーヤーは、スローオフが完了するまで、体の一部でもスローオフエリアラインを越えてはいけない。スローオフを行う側のプレーヤーは、スローオフエリアの中を除き、笛の合図よりも前にセンターラインを踏み越えてはいけない。相手チームのプレーヤーは、体全体がスローオフエリアラインの外側にいなければならない。 ●前後半の開始のときのスローオフ時は、すべてのプレーヤーは自陣のサイド、または該当する場合はスローオフエリアの中にいなければならない。得点後のスローオフ時は、スローを行うチームの相手チームのプレーヤーは、コートのどちらのサイドにいてもよい。 (①反則—相手に対する動作の反則 のイラスト削除)
167	図(プレーの原則)	防御の厚み	守備の厚み
169	表(③ゴールキック)	防御側は、	守備側は、
169	表(④コーナーキック)	防御側が、	守備側が、
169	表(⑥ペナルティーキック)	a.防御側が、	a.守備側が、

修正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
222	表	ラブ・オール プレー	ラブオール プレー
222	表⑩ 第2(3)ゲームの始まり	セカンド(ファイナル)ゲーム__	セカンド(ファイナル)ゲーム ラブオール プレー
224	右14行目	120	130
224	右14行目	国際ソフトボール連盟	世界野球ソフトボール連盟
234	図	プレーボール	プレイボール
235	中段表	プレーボール	プレイボール
338	右, 下から2行	1チーム4～5人で, 試合時間は5～7分ハーフ__。ハーフタイムは1分間。	1チーム4～5人で, 試合時間は5分ハーフ程度。ハーフタイムは1分間程度。
339	右(図)	<p>●フィールド</p> 	<p>●フィールド</p> 